

大分工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本史
科目基礎情報						
科目番号	R02G104		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科目		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	小風秀雅ほか著、『新選日本史B』, 東京書籍。					
担当教員	上野 淳也					
到達目標						
(1) 日本史の流れや基本的な用語を覚え, 日本史に関する基礎学力を身につける。(定期試験) (2) 過去とのつながりを尊重しつつ, 現代を考える力を身につけ, 論述する力を養う。(定期試験) (3) 日中戦争や太平洋戦争をはじめとする近現代史の動向や, 隣人アジア諸国との関係について理解する。(定期試験) (4) 歴史を学ぶことで, 日本各地の地域性や日本社会の多様性について理解し, 平和の意義について考える。(定期試験)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本史に関する基礎学力が高い。		日本史に関する基礎学力がある。		日本史に関する基礎学力がない。	
評価項目2	日本史に関する論述力が高い。		日本史に関する論述力がある。		日本史に関する論述力がない。	
評価項目3	アジア諸国との関係について理解力が高い。		アジア諸国との関係について理解力がある。		アジア諸国との関係について理解力がない。	
評価項目4	日本の多様性について理解力が高い。		日本の多様性について理解力がある。		日本の多様性について理解力がない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 (A1)						
教育方法等						
概要	古代から現在まで日本の歴史の流れをつかみ, それぞれの時代について理解を深める。近現代史を重視し, 日本の事柄だけに目を向けるのではなく, 世界における日本の位置づけ, および中国・韓国を中心とする近隣アジア諸国と日本との関係についても考える。また九州・沖縄地方が舞台となる歴史的事柄も重視する。 授業時間: 46.5時間。					
授業の進め方・方法	到達目標の(1)～(4)について, 計3回の定期試験の平均点によって評価する。出席状況・授業中の態度により10%を上限として減点する。総合評価が60点以上を合格とする。3回の定期試験の平均点が60点未満の者には再試験を行うことがある。この場合の実施方法, 条件などは授業において明示する。					
注意点	授業中にノートをきちんと取り, 予習と復習をしっかりとすること。授業で次回の範囲(頁数)を伝えるので, 教科書を読んで予習しておく。参考図書や文献は随時, 授業中に紹介する。					
評価						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	縄文・弥生文化		縄文・弥生時代について理解できる。	
		2週	律令国家の成立		律令国家の成立	
		3週	奈良時代		律令国家体制の成立について理解できる。	
		4週	平安時代初期		奈良時代の歴史と文化について理解できる。	
		5週	国風文化と院政		平安時代初期について理解できる。	
		6週	平氏政権		国風文化と院政について理解できる。	
		7週	元寇		平氏の盛衰について理解できる。	
		8週	鎌倉仏教		鎌倉幕府の成立と元寇について理解できる。	
	2ndQ	9週	室町幕府の確立		室町幕府の成立と応仁の乱について理解できる。	
		10週	戦国大名		戦国大名と室町文化について理解できる。	
		11週	ヨーロッパ文化と織豊政権		キリスト教の到来, 織田信長と豊臣秀吉の時代について理解できる。	
		12週	江戸幕府の成立		幕藩体制の確立, 「鎖国」について理解できる。	
		13週	総復習・まとめ			
		14週	前期期末試験			
		15週	前期期末試験の解答と解説		試験の見直しと確認ができる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	経済と産業の発達		「鎖国」下の外交と貿易, 経済と産業の発達について理解できる。	
		2週	幕藩体制の動揺		江戸時代の諸改革や外国船の来航について理解できる。	
		3週	開国		江戸時代の学問と文化, 開国について理解できる。	
		4週	幕末から明治維新へ		幕府の滅亡と明治維新について理解できる。	
		5週	政府専制への批判		明治政府の対外関係, 自由民権運動について理解できる。	
		6週	日清戦争と日露戦争		大日本帝国憲法, 日清戦争, 日露戦争について理解できる。	
		7週	大正デモクラシー		産業革命, 明治時代の文化, 大正デモクラシーについて理解できる。	
		8週	後期中間試験			
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説	社会運動の展開	試験の見直しと確認ができる。社会運動について理解できる。	

		10週	日中戦争	満州事変、国家主義思想の高まり、日中戦争について理解できる。
		11週	太平洋戦争	太平洋戦争と敗戦にいたる過程について理解できる。
		12週	占領と国内改革	戦後の占領、民主化、独立、再軍備について理解できる。
		13週	高度経済成長	高度経済成長と戦後の文化について理解できる。
		14週	日本の課題	日本が抱えるさまざまな課題について理解できる。
		15週	後期期末試験	
		16週	後期期末試験の解答と解説	試験の見直しと確認ができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後13,後14
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	前1,後5,後6,後7,後8,後10,後11
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	後12,後13,後14
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0